

令和4年度

(2022年度)

事業計画

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

特定非営利活動法人 映像産業振興機構

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

1. 事業実施の方針

令和4年度におきましても、コンテンツ産業全体の振興に向けた事業を推進してまいります。当機構の母体であります、映画、音楽、放送、アニメーション、ゲーム等のコンテンツ産業に係る人材育成支援、海外市場開拓促進という2本柱を堅持して、わが国のコンテンツ産業の国際競争力を高めるため、関係企業、団体、職能者組織と連携を図ります。また、政府、地方公共団体による政策、施策を有機的に組み合わせて、より具体的な事業を実施してまいります。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関する事業

① 人材育成事業

- ・短編映画製作による若手映画作家育成事業 (ndjc)
- ・映画スタッフ育成事業
- ・映画・映像人材育成事業(京都映画企画市等)(京都府)
- ・VIPO アカデミーの運営
- ・各種セミナー、ワークショップ(有料、無料)の運営
- ・AFI(American Film Institute)への日本人留学生の推薦事業
- ・VIPO Film Lab

② 内外市場整備事業

- ・コンテンツ海外展開促進事業(コンテンツ関連ビジネスマッチング事業)(コ・フェスタを含む)
- ・コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金(J-LODlive)(令和2年度一次補正)
- ・コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金(J-LODlive2)(令和2年度三次補正)
- ・「コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費補助金」(J-LOD)(令和3年度補正)
- ・「コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業」事務局業務(令和3年度補正)
 - (1) ARTS for the future! 2
 - (2) 統括団体によるアートキャラバン
- ・メディア芸術海外展開事業

- ・アーカイブ中核拠点形成モデル事業（ノンフィルム資料アーカイブ）
- ・全国ロケーションデータベースの利用促進のための調査
- ・令和4年度日本映画海外発信事業
- ・大型映像作品ロケーション誘致の効果検証調査
- ・令和4年度日本書籍翻訳・普及事業
- ・マンガ家志望者支援事業（京まふ2022）（京都市）
- ・JAPACON/ Japan Content Catalog（JACC）/ Japan Creator Bank（JCB）/ Japan Book Bank（JBB） / VIPO Integrated Support System（VISS）の利活用促進
- ・フェスティバル・スコープ事業
- ・コンテンツ活用促進事業（東京都）
- ・その他、J-LOD事業の知見やデータ等を活かした事業の実施（ビジネスマッチング、コンサルティング、海外プロモーション、就職セミナー等）

③ 調査研究事業

- ・コンテンツ関連各種調査
- ・政策検討委員会等の（再）構築

④ 交流促進事業

- ・海外の同様の機関等と交流の推進（KOCCA等）

（2）その他事業

- ・ndjc フォローアップ事業（配信、特別上映）
- ・その他各省庁からのコンテンツ関連の受託事業（現在、経産省、文化庁と新たな事業に関して調整中）

以上